



非常用 トイレの 使い方



動画で見る

- 備蓄資機材ハンドブック - STOCKPILING MATERIALS AND EQUIPMENT HANDBOOK



担架の 使い方



動画で見る

- 備蓄資機材ハンドブック - STOCKPILING MATERIALS AND EQUIPMENT HANDBOOK



1

ビニール袋(透明) 1枚
を便座に被せ、次に、
ビニール袋(黒)をその
上に被せます。



2

凝固剤の**半分**の量を袋の中に入れます。



3

用を足したら、凝固剤の残り半分を袋の中に入
れ便座からビニール袋(黒)を取り出し、
中の空気を抜いた後、中身がこぼれないよう
にしっかりと縛ります。

【注意事項】



付属のテントを設置し、
使用中は札を“使用中”
へ変更してください。



1

担架を広げ、下面のストッパーを固定します。
※手を挟まないように注意



2

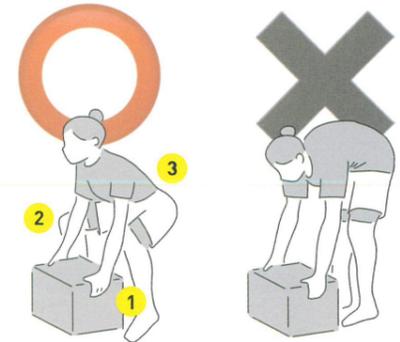
担架を表向きにし、付属の紐を両方の持ち
手に掛けます。



3

紐を首にかけ、紐が垂直になるように、担
架を持ち上げて利用します。

【腰を痛めない持ち上げ方】



- 1 持ち上げる対象物に体を近づける。
- 2 膝を曲げて対象物を持つ。
- 3 そのまま徐々に膝を伸ばして対象物を持ち上げる。

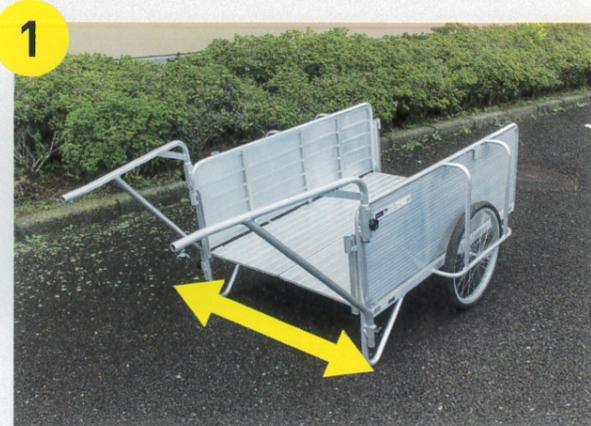


リヤカーの 使い方



動画で見る

- 備蓄資機材ハンドブック - STOCKPILING MATERIALS AND EQUIPMENT HANDBOOK



リヤカーの底部を広げます。



前部及び後部の支柱をそれぞれ差し込みます。



前部及び後部に、板をそれぞれ差し込みます。



付属の持ち手を差し込み、グリップを締めます。

※持ち手側のグリップもしっかり締めてください。



かまどの 使い方



動画で見る

屋内使用厳禁

※必ず屋外で使用してください(都台上、屋内で撮影しています)。
※水平な場所で使用してください。

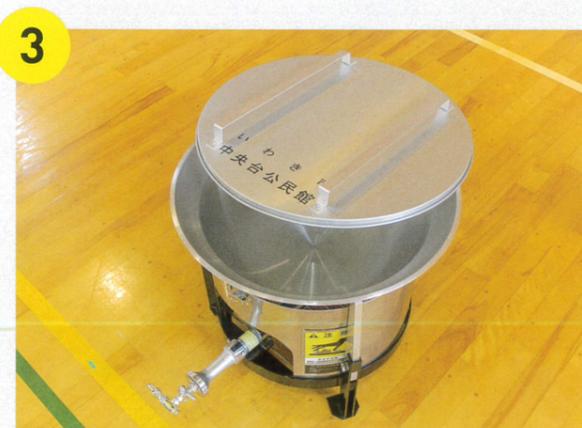
- 備蓄資機材ハンドブック - STOCKPILING MATERIALS AND EQUIPMENT HANDBOOK



かまどについている脚を立てながら、カバーを脚の内側に差し込み、カバー同士をフックで固定します。



カバー開口部からバーナーを差し込んだ後、軽く手前に引き、かまど焚口部に当てます。
※バーナーをかまど焚口部に当てると、バーナーの炎噴出口がかまど中央にきます。



平釜をかまどの脚に水平にのせ揚ザル、ふたをセットすれば組立完了です。

※ガスホースを取り付ける前に、バーナーのcockが閉じていることを確認してください。



【 美味しい ご飯の炊き方 】

- ①お米をはかります。
- ②お米を洗います。
(無洗米は 軽くすすぐだけ)
- ③水を入れます。(1合に対して200cc)
- ④20分間ほど水に浸します。
- ⑤フタはしっかりしめます。
- ⑥強火で沸騰させながら炊きます。
- ⑦煮汁の吹きこぼれが少なくなってきたら、軽く蓋を開けて炊き上がりを確認します。
- ⑧余熱の状態だけで20分以上蒸らしたら完成です。



パーティションの使い方



動画で見る



1

四隅を広げ、自立させます。
※フレームの張力で広がります。周りに注意して、広げてください。



2

正方形になるように、形を整えます。



3

床部にアルミマットを敷きます。
※ずれないようにフックで固定します。



付属の表札や、伝言板も必要に応じて使用してください。



普通 油 電気

3色のマークは、消火器が適応する火災の種類を表しています。

[白] 木材・紙・繊維など
[黄] 灯油・天ぷら油など
[青] 電気器具など

消火器の使い方

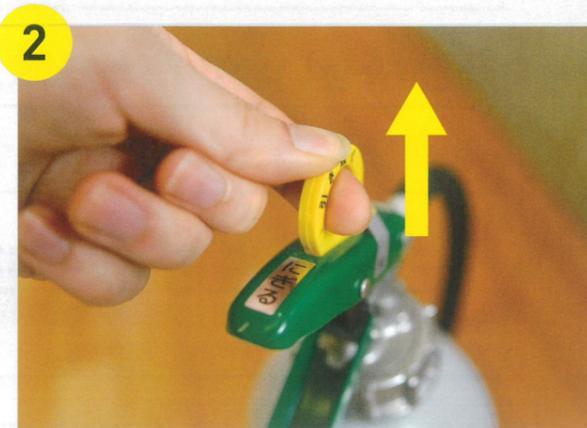
使用時の注意点

※使用前に、ご自身の「逃げ道」を確保の上で使用してください。
※屋外で使用する際には、必ず「風上側」から使用してください。



1

消火器レバーの下を持って、火元近くの安全な場所へと運びます。消火器本体から、ホースを外します。



2

安全栓を引き抜きます。消化する対象物までの距離目安は、火の高さの2~3倍を目安にします。



3

消火器は「姿勢は低く」「出口(退路)に背を向けて」使用します。



4

レバーを強く握り、消火する対象物へ噴射します。火が弱まってきたら、「ほうきで掃くように」消火剤を吹きかけるのがコツです。
※ホースの先端を持つようにしてください。